

沼津市民憲章制定50周年記念絵はがき

沼津市の美しい風景を形にし、更なる魅力を発信していくため、市民等に広く写真作品を公募し、記念絵はがき「感動の風景に出会えるまち・ぬまづ」を制作いたしました。

この記念絵はがきに掲載する写真は、合計21名の方から76作品のご応募をいただき、選考の結果、合計9点の入選作品を選定いたしました。

沼津市民憲章制定50周年記念絵はがき

～感動の風景に出会えるまち・ぬまづ～

入選者、作品名、作品への想い

入選作品 金井 泰憲さん「狩野川の朝」

広報ぬまづで「沼津市民憲章制定50周年記念絵はがき写真募集」の記事を見てから、どんな景色が良いのか考えた末、一番見慣れて誰でも知っている狩野川の朝の風景を写真に撮りました。

入選作品 伊東 喜一さん「憩いの浜千本」

千本浜への想いは数々ありますが、県外にも知られた観光地でありながら人の手が入らず自然が保たれている。憩いの浜であり、この浜を散歩できる幸せを感じています。

入選作品 鈴木 正伸さん「びゅうおの夕暮れ」

12月末。もうすぐ新年を迎えようとしている夕暮れ時。びゅうおを訪れると、正に夕陽が沈むところでした。静かに暮れていく一年と新しい年の訪れを予感する、沼津ならではの美しい景色がありました。

入選作品 杉澤 寿春さん「狩野川に舞う鯉のぼり」

運よく子供の日は風が強くて絶好の鯉のぼり撮影びよりとなりました。色々な角度・方向から沢山撮影しましたが沼津の絵ハガキにするため、ひと目で沼津と分かる御成橋が入った鯉のぼりを選びました。あと注意したのは楽しそうな家族連れが入っていることも選ぶ要素としましたが、人物の顔がはっきり写っていないものを選ぶのに苦労しました。今どきの問題ですね。

入選作品 杉澤 寿春さん「狩野川打ち上げ花火」

3年ぶりの沼津の花火を是非撮りたいと写真仲間と撮影に行きました。河川敷から離れて永代橋の少し南から狙って、花火や街の光の写りこみが川面に写るように撮影しました。手ごたえありで帰宅後パソコンチェックしたらすべてピンボケでがっくり。原因はカメラ設定ミスで、翌、日曜日にリベンジをしたのがこの作品でした。カメラの基本設定は大事ですね。

入選作品 間部 碩敏さん「街の灯と漁火のコラボ」

シーズン毎に表情を変える香貫山からの夕景、夜景は、富士山、愛鷹山、駿河湾、それに大瀬崎に囲まれて、トワイライトタイム（日没から20分から30分後）での時間帯に最も美しくなります。香陵台の駐車場から約30分の登りで、展望台となる場所からのロケーションは、全国的にも飛びぬけたものと確信しています。この写真は年末に撮り、街の灯りとイカ釣り船の灯りが海面に映り込んで、駿河湾のカーブを際立たせています。沼津愛として、これらの素晴らしさが誇らしいと思います。

入選作品 高村 昌貢さん「松林の小道」

牧水祭の帰り、千本松原の小径が秋の陽射しでキラキラ光っていらしたのでシャッターを押しました。

入選作品 宇野 孝俊さん「白鳥の池」

門池に数年ぶりに飛来してきた白鳥の親子に、来年も戻って来て欲しいと思いシャッターを押しました。

入選作品 三神暁人さん「沼津の春、日本の春」

富士山と桜、そして五重塔。日本的な春を感じる要素が沼津にあることを、この写真を通じて色んな人に知ってもらえたら嬉しいです。



入選作品 金井泰憲さん「狩野川の朝」



入選作品 伊東喜一さん「憩いの浜千本」



入選作品 鈴木正伸さん「びゅうおの夕暮れ」



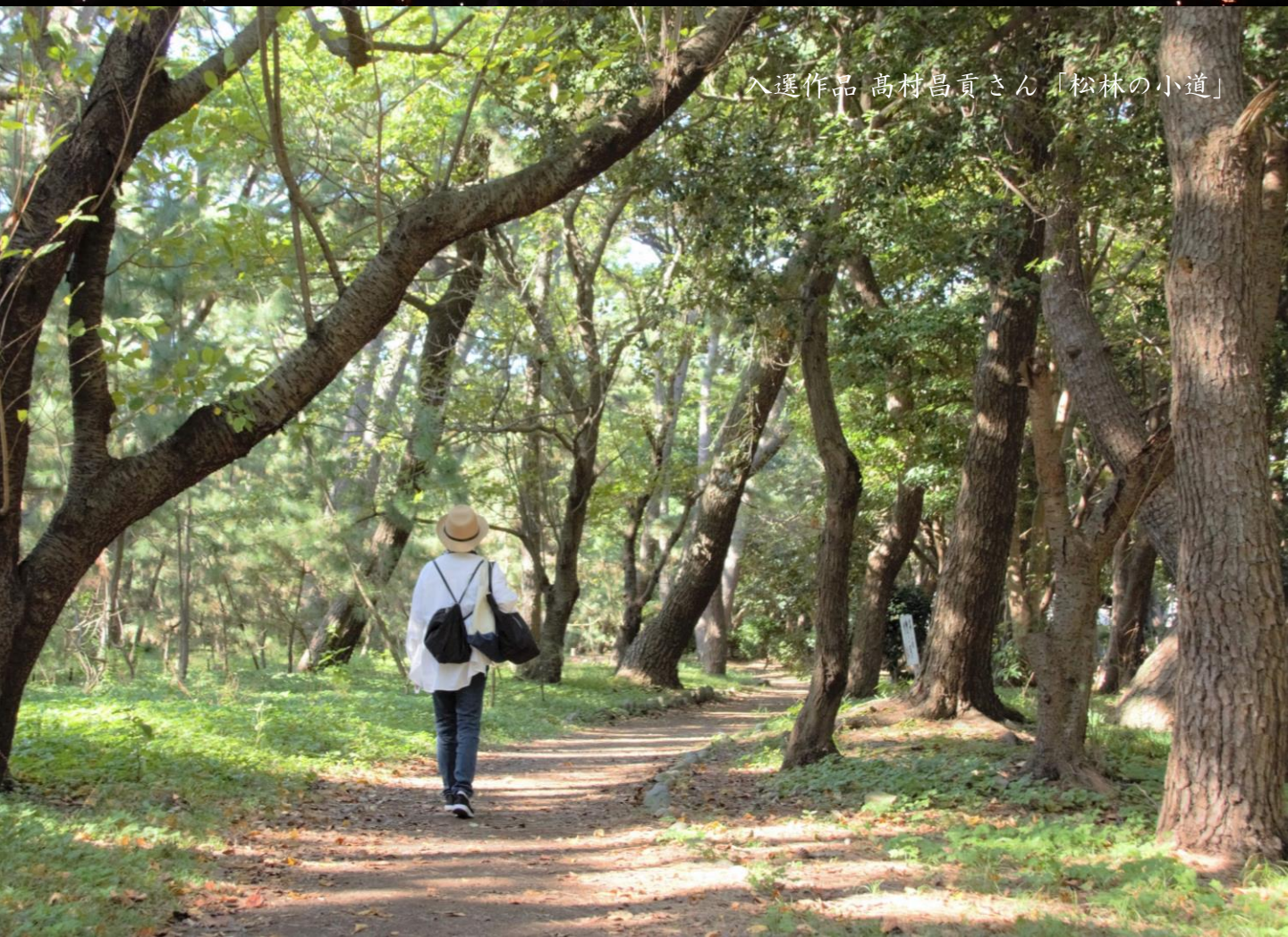
入選作品 杉澤寿春さん「狩野川に舞う鯉のぼり」



入選作品 杉澤寿春さん「狩野川打ち上げ花火」



入選作品 間部碩敏さん「街の灯と漁火のコラボ」



入選作品 高村昌貢さん「松林の小道」



入選作品 宇野孝俊さん「白鳥の池」

入選作品 三神暁人さん「沼津の春、日本の春」

